

2027年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年10月14日

上場会社名 株式会社 トレジャー・ファクトリー 上場取引所 東
コード番号 3093 URL https://www.treasurefactory.co.jp/
代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 野坂 英吾
問合せ先責任者 （役職名） 執行役員経営企画室長 （氏名） 金坂 剛嗣 TEL 03-3880-8822
半期報告書提出予定日 2026年10月14日 配当支払開始予定日 2026年11月2日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年3月1日～2026年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年2月期中間期	25,891	15.3	2,330	21.5	2,322	18.5	1,497	21.0
2026年2月期中間期	22,453	14.5	1,919	10.0	1,960	11.5	1,238	8.2

（注）包括利益 2027年2月期中間期 1,525百万円（19.9%） 2026年2月期中間期 1,271百万円（8.8%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期中間期	63.89	—
2026年2月期中間期	52.84	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年2月期中間期	27,086	13,962	50.8
2026年2月期	25,479	12,900	50.0

（参考）自己資本 2027年2月期中間期 13,760百万円 2026年2月期 12,733百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	19.00	—	21.00	40.00
2027年2月期	—	24.00			
2027年2月期（予想）			—	22.00	46.00

（注1）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年2月期の連結業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,975	13.1	5,333	11.6	5,332	9.8	3,551	12.0	151.49

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 - 社 (社名) -、除外 - 社 (社名) -

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2027年2月期中間期	24,347,800株	2026年2月期	24,347,800株
-------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2027年2月期中間期	899,549株	2026年2月期	906,591株
-------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数 (中間期)

2027年2月期中間期	23,443,576株	2026年2月期中間期	23,437,786株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている将来に関する事項は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき記載したものであり、今後様々な要因によって異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては添付資料4ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(会計方針の変更に関する注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等の注記)	11
(重要な後発事象)	13

1. 当中間決算に関する定性的情報

経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、景気は緩やかに回復しております。個人消費は実質総雇用者所得の緩やかな増加を受けて持ち直しの動きがみられたものの、消費者物価の緩やかな上昇や米国の通商政策の動向などにより、消費者マインドには引き続き弱さもみられ、先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

リユース業界においては、物価上昇に伴う生活防衛意識の定着や循環型社会への関心の高まりを背景に、リユース品全般に対する需要が引き続き拡大しております。一方で、小売業界全体では実質賃金の伸び悩みを背景に「安いから買う」から「共感・納得して選ぶ」へと消費行動がシフトする動きもみられており、商品力や店舗での体験価値による差別化が一段と重要性を増しております。

当社グループにおきましては、当中間連結会計期間は、前期に続き堅調に推移し、6-8月の第2四半期連結会計期間の営業利益は475百万円と、第2四半期連結会計期間としては過去最高の営業利益を達成しました。既存店売上も堅調に推移しました。

その結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高25,891百万円（前年同期比15.3%増）、営業利益2,330百万円（前年同期比21.5%増）、経常利益2,322百万円（前年同期比18.5%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は1,497百万円（前年同期比21.0%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次の通りであります。

（リユース事業）

連結売上高が前年同期比15.4%増、単体既存店が同5.2%増となりました。カテゴリー別では、衣料は気温上昇に伴う夏物衣料需要の高まりなどを背景に前年同期比14.5%増となりました。電化製品は3-4月の新生活需要に加え、気温上昇に伴うエアコン・扇風機など夏物家電の販売増加を取り込み、前年同期比12.5%増となりました。ブランド品や腕時計などの服飾雑貨は前年同期比18.5%増、アウトドアやスポーツ用品などのホビー用品も同20.5%増と高い伸びとなりました。また、EC販売額は前年同期比27.3%増となりました。

仕入では、当中間連結商品仕入高は前年同期比14.6%増となりました。買取チャネル別では、持込買取が同11.1%増（単体）と引き続き堅調に推移し、店舗以外の買取チャネルでは、宅配買取が同22.2%増（単体）、出張買取も同20.5%増（単体）と好調に推移しました。

出店につきましては、当中間連結会計期間において、直営店を19店出店した一方、1店を閉店した結果、直営店は差引き18店舗の純増となりました。なお、FC店の増減はありませんでした。その結果、当中間連結会計期間末（2026年8月31日）における店舗数は、単体で直営店244店、FC店4店の合計248店、グループ全体で直営店306店、FC店31店の合計337店となりました。出店状況の内訳は次表のとおりであります。

①業態別 当中間期の出退店実績

業態	前期末	新規出店数	退店数	増減数	当中間期末
トレファクスタイル	100	8	△1	7	107
トレジャーファクトリー	99	5	—	5	104
カインドオル	40	2	—	2	42
ユーズレット	13	—	—	—	13
ゴルフキッズ	13	—	—	—	13
トレファクスポーツアウトドア	10	1	—	1	11
ピックアップ	10	1	—	1	11
その他	34	2	—	2	36
合計	319	19	△1	18	337

（注）店舗数にはFC店舗も含まれます。

（注）海外店舗はその他に含まれます。

②地域別 当中間期の出退店実績

地域		前期末	新規出店数	退店数	増減数	当中間期末
	東北	7	—	—	—	7
	関東	197	11	△1	10	207
	北陸	1	—	—	—	1
	東海	43	3	—	3	46
	関西	56	3	—	3	59
	中国	2	—	—	—	2
	九州	5	1	—	1	6
	国内計	311	18	△1	17	328
	タイ	5	1	—	1	6
	台湾	3	—	—	—	3
	海外計	8	1	—	1	9
合計		319	19	△1	18	337

（注）店舗数にはFC店舗も含まれます。

以上の結果から、売上高は25,221百万円（前年同期比15.4%増）、セグメント利益は3,226百万円（前年同期比11.5%増）となりました。

（その他）

レンタル事業では、売上高は前年同期比20.3%増となりました。

以上の結果から、売上高は1,006百万円（前年同期比25.0%増）、セグメント利益は60百万円（前年同期比140.0%増）となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における資産合計は、現金及び預金が596百万円減少、売掛金が7百万円増加、商品が1,317百万円増加、建物及び構築物（純額）が348百万円増加、敷金及び保証金が267百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して1,606百万円増加し、27,086百万円となりました。

当中間連結会計期間末における負債合計は、短期借入金が408百万円増加、長期借入金が363百万円増加、賞与引当金が54百万円増加、1年内返済予定の長期借入金が55百万円減少、未払法人税等が111百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比較して544百万円増加し、13,124百万円となりました。

当中間連結会計期間末における純資産合計は、親会社株主に帰属する中間純利益を1,497百万円計上、配当金の支払いにより492百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比較して1,061百万円増加し、13,962百万円となりました。

（キャッシュ・フローの分析）

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ596百万円減少し、4,416百万円となりました。また当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは330百万円の収入（前年同期は329百万円の収入）となりました。これは主に税金等調整前中間純利益2,321百万円、減価償却費432百万円があった一方で、棚卸資産の増加額1,370百万円、法人税等の支払額911百万円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは1,152百万円の支出（前年同期は1,023百万円の支出）となりました。これは主に店舗新設に伴う有形固定資産の取得による支出786百万円、敷金及び保証金の差入による支出311百万円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは223百万円の収入（前年同期は218百万円の収入）となりました。これは主に長期借入れによる収入1,100百万円、短期借入金による収入408百万円があった一方で、長期借入金の返済による支出792百万円、配当金の支払いによる支出492百万円があったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年2月期の通期連結業績予想につきましては、2026年7月9日に公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」における修正後の連結業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当中間連結会計期間 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,014	4,418
売掛金	1,674	1,681
商品	9,091	10,408
その他	1,046	1,158
流動資産合計	16,827	17,666
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,727	3,076
土地	426	426
その他（純額）	894	1,073
有形固定資産合計	4,049	4,576
無形固定資産		
のれん	311	282
その他	194	222
無形固定資産合計	506	504
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,060	3,328
その他	1,036	1,010
投資その他の資産合計	4,097	4,338
固定資産合計	8,652	9,420
資産合計	25,479	27,086

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当中間連結会計期間 (2026年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	236	177
短期借入金	4,021	4,429
1年内返済予定の長期借入金	1,332	1,276
未払法人税等	991	879
契約負債	151	174
返金負債	56	73
賞与引当金	589	644
株主優待引当金	4	—
資産除去債務	1	17
その他	2,359	2,224
流動負債合計	9,745	9,898
固定負債		
長期借入金	1,869	2,232
資産除去債務	939	969
その他	24	24
固定負債合計	2,833	3,226
負債合計	12,579	13,124
純資産の部		
株主資本		
資本金	906	906
資本剰余金	872	880
利益剰余金	11,513	12,518
自己株式	△582	△577
株主資本合計	12,710	13,728
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	23	31
その他の包括利益累計額合計	23	31
非支配株主持分	166	202
純資産合計	12,900	13,962
負債純資産合計	25,479	27,086

（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年3月1日 至 2025年8月31日）	当中間連結会計期間 （自 2026年3月1日 至 2026年8月31日）
売上高	22,453	25,891
売上原価	8,988	10,300
売上総利益	13,464	15,591
販売費及び一般管理費	11,545	13,260
営業利益	1,919	2,330
営業外収益		
受取利息	3	19
自販機収入	7	7
為替差益	12	—
助成金収入	15	7
その他	27	14
営業外収益合計	66	48
営業外費用		
支払利息	23	43
為替差損	—	12
その他	1	1
営業外費用合計	25	57
経常利益	1,960	2,322
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除却損	1	1
投資有価証券評価損	0	—
特別損失合計	1	1
税金等調整前中間純利益	1,959	2,321
法人税、住民税及び事業税	650	769
法人税等調整額	31	34
法人税等合計	681	803
中間純利益	1,277	1,517
非支配株主に帰属する中間純利益	38	19
親会社株主に帰属する中間純利益	1,238	1,497

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年3月1日 至 2025年8月31日）	当中間連結会計期間 （自 2026年3月1日 至 2026年8月31日）
中間純利益	1,277	1,517
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△5	7
その他の包括利益合計	△5	7
中間包括利益	1,271	1,525
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	1,233	1,505
非支配株主に係る中間包括利益	38	19

（3）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,959	2,321
減価償却費	368	432
のれん償却額	23	28
株式報酬費用	5	6
賞与引当金の増減額（△は減少）	39	54
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△5	△4
受取利息及び受取配当金	△3	△19
支払利息	23	43
為替差損益（△は益）	△2	△2
助成金収入	△15	△7
固定資産除売却損益（△は益）	1	1
未払消費税等の増減額（△は減少）	△172	△54
売上債権の増減額（△は増加）	△125	△7
棚卸資産の増減額（△は増加）	△1,194	△1,370
仕入債務の増減額（△は減少）	20	△59
その他	227	△100
小計	1,149	1,261
利息及び配当金の受取額	3	19
利息の支払額	△23	△46
助成金の受取額	15	7
法人税等の支払額	△814	△911
営業活動によるキャッシュ・フロー	329	330
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△685	△786
無形固定資産の取得による支出	△36	△50
敷金及び保証金の差入による支出	△284	△311
敷金及び保証金の回収による収入	84	42
その他	△101	△47
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,023	△1,152
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	166	408
長期借入れによる収入	1,100	1,100
長期借入金の返済による支出	△636	△792
自己株式の取得による支出	—	△0
新株予約権の行使による株式の発行による収入	9	—
配当金の支払額	△421	△492
財務活動によるキャッシュ・フロー	218	223
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	2
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△473	△596
現金及び現金同等物の期首残高	3,004	5,012
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,531	4,416

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（会計方針の変更に関する注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自 2025年3月1日 至 2025年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書計上額 (注) 3
	リユース事業				
売上高					
外部顧客への売上高	21,864	589	22,453	—	22,453
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	216	216	△216	—
計	21,864	805	22,670	△216	22,453
セグメント利益	2,894	25	2,920	△1,001	1,919

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、レンタル事業、システム事業、不動産事業等を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益の調整額は全社費用であり、主にセグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(注) 3 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間（自 2026年3月1日 至 2026年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書計上額 (注) 3
	リユース事業				
売上高					
外部顧客への売上高	25,221	670	25,891	—	25,891
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	336	336	△336	—
計	25,221	1,006	26,227	△336	25,891
セグメント利益	3,226	60	3,287	△956	2,330

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、レンタル事業、システム事業、不動産事業等を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益の調整額は全社費用であり、主にセグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(注) 3 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。